資料－２

子吉川大規模氾濫時の減災対策協議会
令和６年度実施状況

令和６年度実施状況（秋田河川国道事務所）

子吉川圏域大規模氾濫時の減災対策協議会

■ハード対策

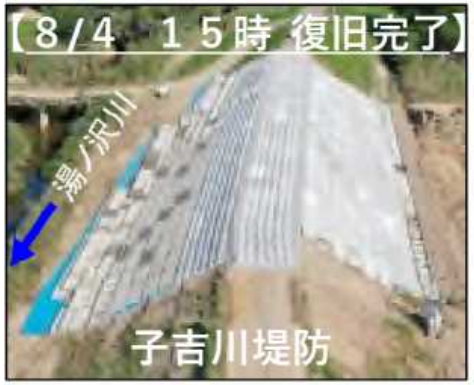
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

○堤防整備（災害復旧）

⇨R6.7洪水による堤防決壊２箇所の応急復旧完了。R7年度本復旧継続実施。

○河道掘削 ⇨ 由利本荘市二十六木地区【継続】

○ダム建設の推進 ⇨ 鳥海ダム建設事業【継続】





R6.7出水による堤防決壊箇所　応急復旧

■ソフト対策【守り切る】

③住民の暮らしと生命を守るための現場での取組及び住民自らが行う取組

○水害リスクの高い箇所の合同巡視の実施（重要水防箇所合同巡視）

⇨由利本荘市・秋田県・国交省による重要水防合同巡視【継続】

○防災教育の促進（自然災害伝承費の発掘、登録、周知）

⇒「あきた災害の記憶伝承」リーフレットの作成・配布【継続】





R6.5.21 子吉川重要水防箇所合同巡視状況



二十六木地区　河道掘削状況



鳥海ダム工事進捗状況



「あきた災害の記憶伝承」リーフレット

令和６年度実施状況（秋田県総務部）

■ソフト対策【伝える】

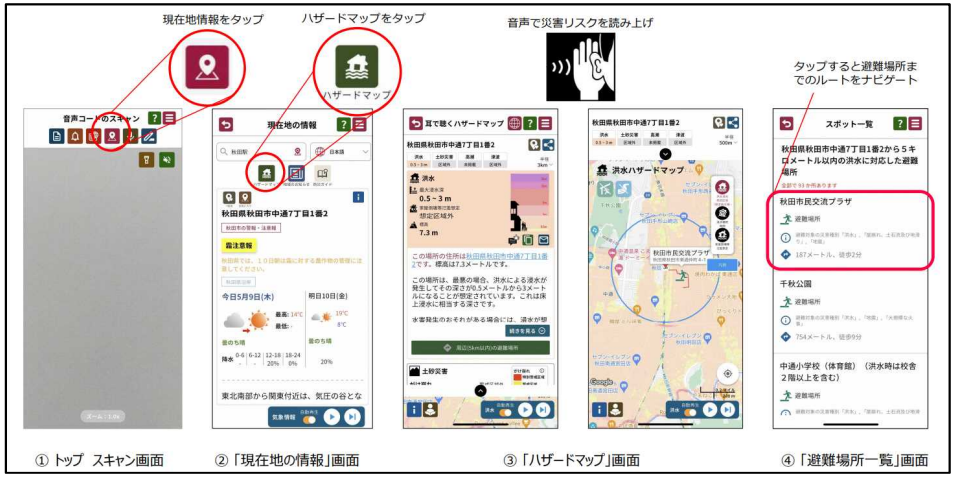
①適切に情報を収集し、わかりやすい
情報を、速やかに伝える

○ ICT等を活用した洪水情報の提供（防災情報・水害リスクの伝達手法）

◆「耳で聴くハザードマップ」(Uni-Voice Blindアプリ)

視覚障がい者のための情報環境改善を目的に、携帯電話のGPS機能を利用し、気象情報、標高、洪水リスク、避難場所までのナビゲートなどを、音声読み上げアプリ(ユニボイスブラインド)を活用して聴くことができます。

※秋田県防災ポータルサイトからも確認、ダウンロードできます。
https://www.bousai-akita.jp/pages/?article_id=646



◆秋田県公式LINE(令和6年5月運用開始)

県政やイベント情報のほか、避難情報や河川の水位情報などの防災情報が、リアルタイムで配信されます。

※配信を希望する情報や地域は、選択することができます。



その他、情報に応じて県公式のSNS(Facebook、X)による配信も行っています。

令和６年度実施状況（秋田県建設部）

子吉川圏域大規模氾濫時の減災対策協議会

■ソフト対策【伝える】

①適切に情報を収集し、わかりやすい情報を、速やかに伝える

あきた河川メール
(秋田県HP掲載)



洪水浸水想定区域図(秋田県HP掲載)
【参考　子吉川水系石沢川1／4】



○ICT等を活用した洪水情報の提供（あきた河川メール）

⇒ 河川水位等の情報をメール配信(R5～)

県公式LINEと連携(R6～)

あきた河川メールの登録は右記のＱＲコードより

○ハザードマップの改良、周知、活用（洪水浸水想定区域図の公表）

⇒ 子吉川水系の６河川で、洪水浸水想定区域図を公表

※ 圏域内の水位周知河川(芋川、白雪川)については、全て公表済み

■ソフト対策【促す】

②判断・行動の遅れによる被災を防ぐための迅速・確実な避難行動を促す取組

○要配慮者利用施設における避難計画の作成及び避難訓練の実施

（避難計画作成に係る市町村等支援・講習会プロジェクト：にかほ市）

⇒ 水防法や土砂法等の規定により避難計画の作成が必要な施設あり

⇒ 要配慮者利用施設の関係者を対象として避難計画の作成方法を講習

※ 由利本荘市については、平成３０年度に講習会開催済み



避難確保計画作成講習会（R7.2.13 にかほ市金浦公民館）

■ソフト対策【守り切る】

③住民の暮らしと生命を守るための現場での取組及び住民自らが行う取組

○重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認

（重要水防箇所の合同巡視）

⇒洪水時に危険が予想され、重点的な巡視点検が必要な箇所を関係機関と共同で実施



芋川　合同巡視状況(由利本荘市)



白雪川　合同巡視状況(にかほ市)

令和６年度実施状況（由利本荘市）

■ソフト対策【守り切る】 ③住民の暮らしと生命を守るための現場での取組及び住民自らが行う取組

〇共助仕組みの強化

⇒まちづくり宅配講座等において、高齢者等の避難行動に向けた取り組み等について講話を行い地域住民、地域包括支援センター職員の防災知識の普及啓発を図った。

◎講座の内容
・令和6年7月豪雨の被害概要
・各地域特有のハザードについてハザードマップを用いて再確認
・防災情報について
・避難行動要支援者の避難支援等について
・防災知識の啓発普及DVD鑑賞

◎まちづくり宅配講座の実施状況

【令和6年度】
開催数　31回
参加人数1758名（2月20日現在）





令和６年度実施状況（にかほ市）

■ソフト対策【伝える】

①適切に情報を収集し、わかりやすい情報を、速やかに伝える

〇ICT等を活用した洪水情報の提供（避難情報伝達手段の検証整備）

⇒ 従来の防災行政無線、防災あんしんメール等の情報発信に加えて、防災アプリ「@InfoCanal（アットインフォカナル）」での情報配信を開始。様々な手段を用いて避難情報等を伝達します。



防災アプリ
@InfoCanal（アットインフォカナル）

■ソフト対策【促す】

②判断・行動の遅れによる被災を防ぐための迅速・確実な避難行動を促す取組

〇要配慮者利用施設における避難計画の作成及び避難訓練の実施

⇒ にかほ市地域防災計画改訂に伴い、にかほ市内の水害危険エリアに位置する要配慮者利用施設を対象に避難確保計画作成講習会を開催。避難確保計画の作成及び避難訓練について継続支援の実施。【継続】



避難確保計画作成講習会

■ソフト対策【守り切る】

③住民の暮らしと生命を守るための現場での取組及び住民自らが行う取組

〇水防訓練の充実（水防工法講習会の実施）

⇒ Ｒ６年６月１日、にかほ市消防団・にかほ市消防本部・秋田県消防学校等の関係機関が水防工法講習会を白雪川堤防で実施【継続】

〇市内河川の合同巡視の実施（重要水防箇所合同巡視）

⇒県管理河川白雪川において、にかほ市・秋田県による重要水防箇所合同巡視を実施【継続】



水防工法講習会



重要水防箇所合同巡視